

船橋市住宅用太陽光発電システム・省エネルギー設備 使用状況等まとめ
(令和2年度補助分)

船橋市では、平成21年度より要件を満たす太陽光発電システムや省エネルギー設備を設置した方を対象に設置費を一部負担する補助事業を実施しており、補助を受けられた方を対象に一定期間の発電量や電気・ガスの使用量を報告していただいております。

この報告に基づき、令和2年度に補助を受けられた方の使用状況をまとめました。

1 基礎情報

交付年度	令和2年度
補助対象設備	・太陽光発電システム ・太陽熱利用システム ・エネファーム ・定置用リチウムイオン蓄電池システム
使用状況報告書提出率	61.2 % (対象170件のうち提出104件)

2 使用状況結果

(1)太陽光発電システム設置による発生電力量・購入電力量の結果

①世帯あたりの年間発生電力量等

システム容量	年間発生電力量
4.60 kW	5,970.8 kWh

②世帯あたりの余剰電力売電量・売電金額等

年間余剰売電量	年間売電額※	売電単価 (令和2年度)
3,778.1 kWh	79,340 円	21 円/kWh

※世帯あたりの年間余剰売電量に売電単価を乗じて得た額

③世帯あたりの年間電気購入量

設備設置前	設備設置後	削減効果(前－後)
4,485.0kWh	3,819.9kWh	665.1kWh

④世帯あたりの年間 CO₂ 排出量の変化【単位：kg-CO₂】

	設備設置前	設備設置後	削減量
電気購入量に伴う CO ₂ 排出量	2,027.2	1,726.6	300.6
売電量に伴う CO ₂ 削減量	—	1,707.7	1,707.7
合 計			2,008.3

排出係数：0.452kg-CO₂/kWh（令和3年度の東京電力エネルギーパートナー(株)の基礎排出係数）

(2)エネファーム設置による購入電力量・使用（購入）ガス量の結果

①世帯あたりの年間電気購入量

設備設置前	設備設置後	削減効果（前－後）
4,634.4kWh	2,352.6 kWh	2,281.8 kWh

②世帯あたりの年間ガス購入（使用）量

設備設置前	設備設置後	使用増加量（後－前）
1,039.4 m ³	1,335.0 m ³	295.6m ³

③世帯あたりの年間 CO₂ 排出量の変化【単位：kg-CO₂】

	設備設置前	設備設置後	削減量
電気購入量に伴う CO ₂ 排出量（α）	2,094.7	1,063.4	1,031.3
ガス購入量に伴う CO ₂ 排出量（β）	2,297.1	2,950.3	-653.2
合計			378.1

排出係数：2.21kg-CO₂/m³（都市ガスの CO₂ 排出係数）

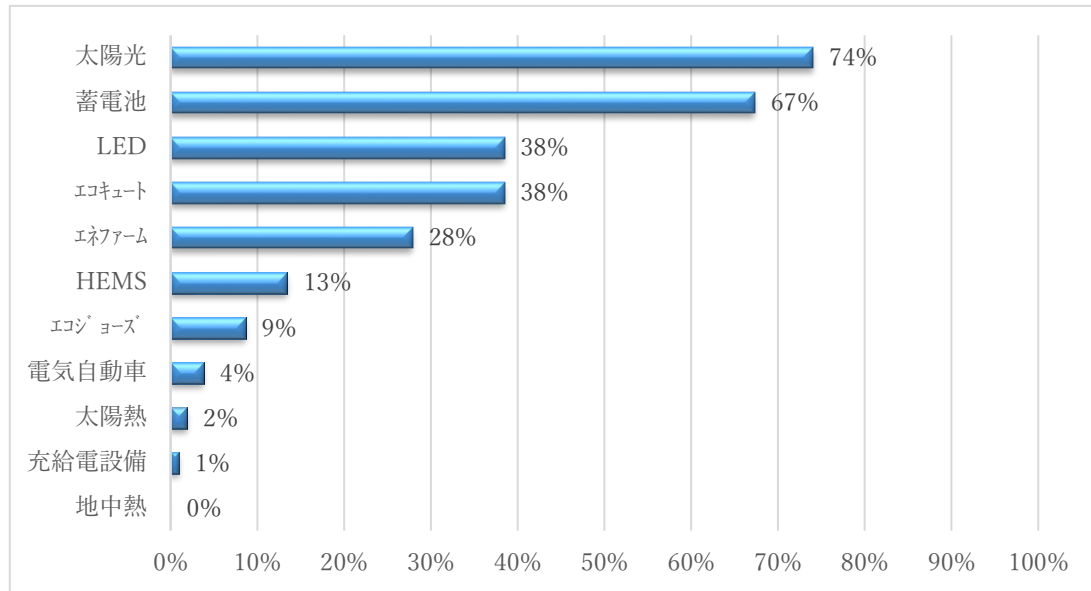
【参考】

・令和2年度世帯当たりの CO₂ 排出量・・・約 3,830kg-CO₂

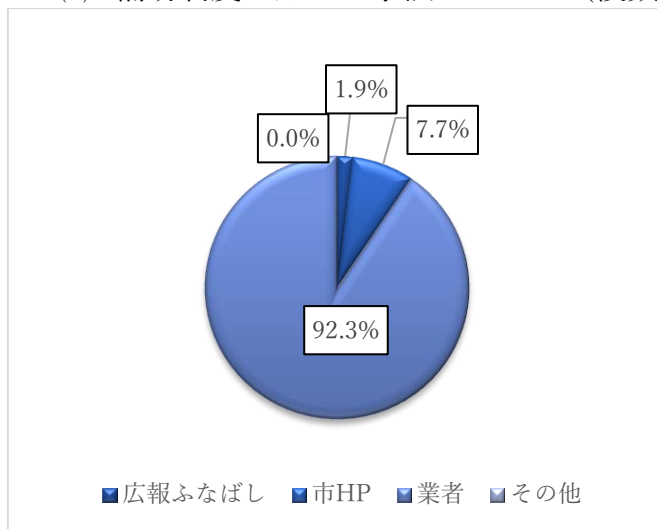
（出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

3 アンケート結果

(1) 住宅に導入されている省エネルギー設備等（補助金交付の有無にかかわらず）
（複数回答可）【n=104】

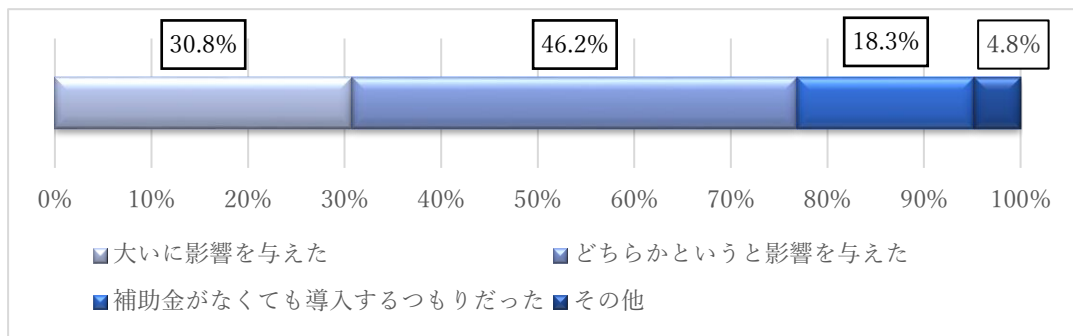


(2) 補助制度を知った手段について（複数回答可）【n=104】



広報媒体	数	割合
広報ふなばし	2	1.9%
市 HP	8	7.7%
設備の契約業者	96	92.3%
その他	0	0%

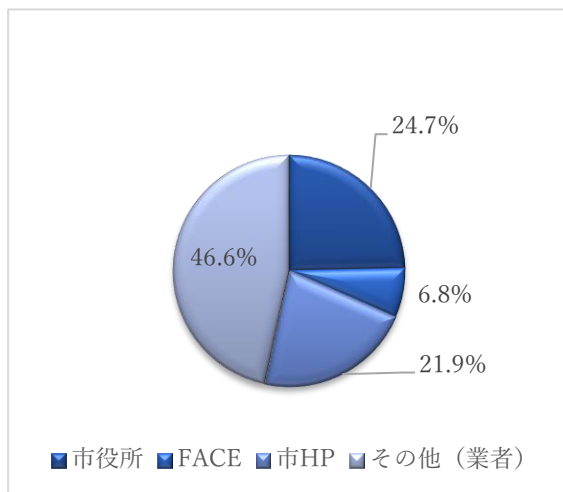
(3) 導入決定に係る市補助金の影響度について【n=104】



回答	数	割合
大いに影響を与えた	32	30.8%
どちらかというと言影響を与えた	48	46.2%
補助金がなくても導入するつもりだった	19	18.3%
その他	5	4.8%

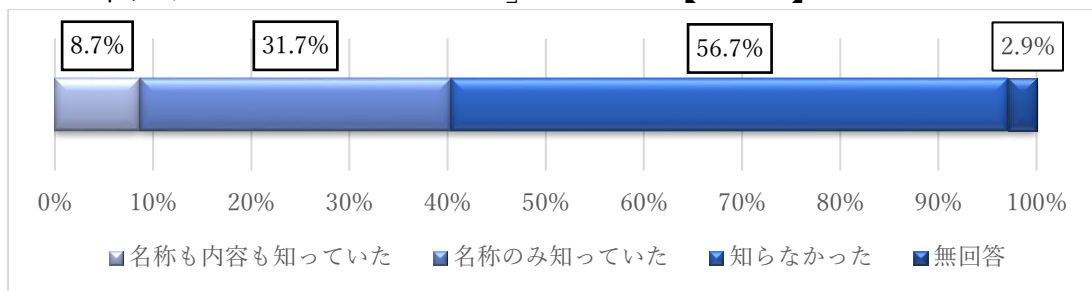
※ その他の内容：設置されている住宅を購入した。

(4) 手引きの入手方法について【n=73】



入手方法	数	割合
市役所	18	24.7%
FACE	5	6.8%
市HP	16	21.9%
その他（業者）	34	46.6%

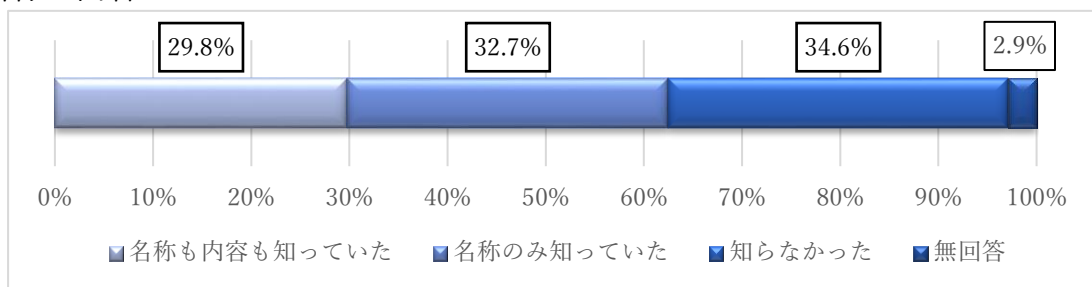
(5) 「2050 年チャレンジ“ゼロカーボン”」について【n=104】



回答	数	割合
名称も内容も知っていた	9	8.7%
名称のみ知っていた	33	31.7%
知らなかった	59	56.7%
無回答	3	2.9%

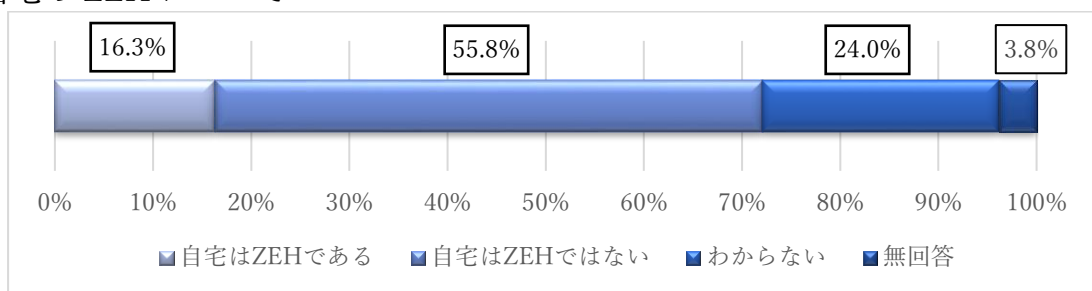
(6) 「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について【n=104】

《名称や内容について》



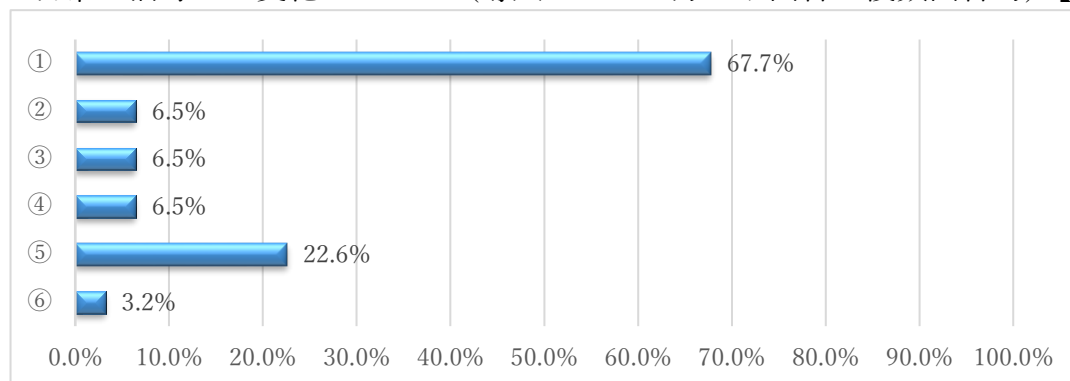
回答	数	割合
名称も内容も知っていた	31	29.8%
名称のみ知っていた	34	32.7%
知らなかった	36	34.6%
無回答	3	2.9%

《自宅の ZEH について》



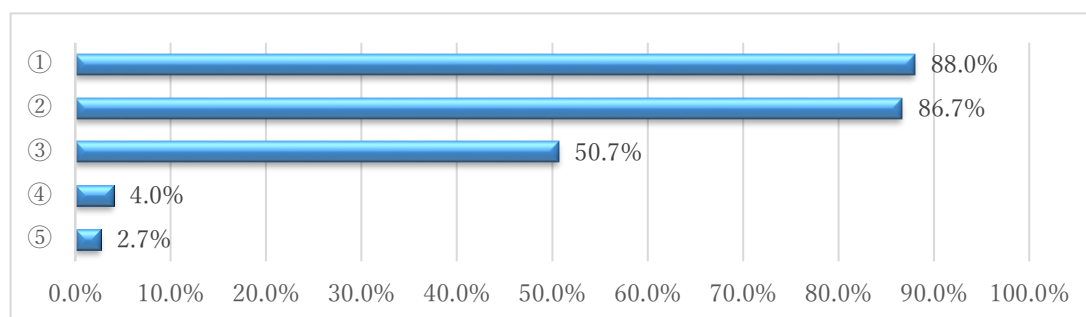
回答	数	割合
自宅は ZEH である	17	16.3%
自宅は ZEH ではない	58	55.8%
わからない	25	24.0%
無回答	4	3.8%

(7) HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を導入したことによる日常生活等での変化について（導入している方のみ回答・複数回答可）【n=31】



	回答	数	割合
①	使用量などを定期的を確認し、節電に取り組むようになった	21	67.7%
②	家電などの自動制御、遠隔操作ができるようになり、生活が便利になった	2	6.5%
③	外出先からスマートフォンなどで使用量の確認や操作を行うようになった	2	6.5%
④	他の設備と組み合わせることで、その設備の効果をより実感できるようになった	2	6.5%
⑤	特に変化はない	7	22.6%
⑥	その他	1	3.2%

(8) 定置用リチウムイオン蓄電システムを導入した理由について（導入している方のみ回答・複数回答可）【n=75】

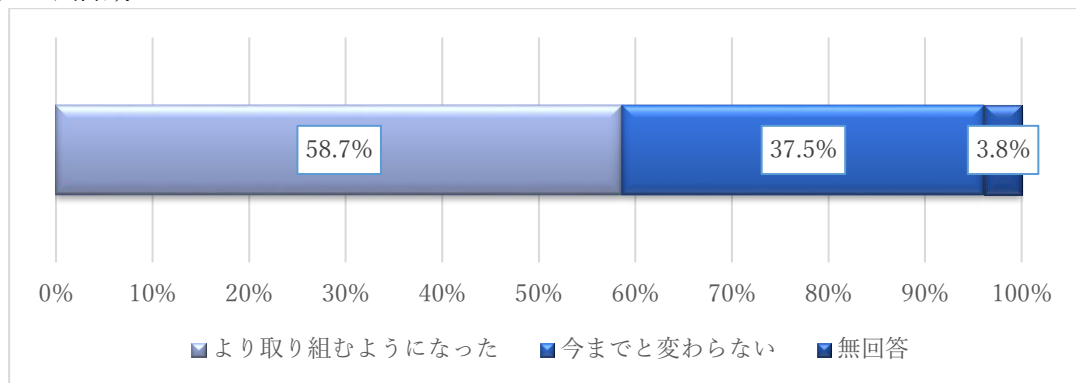


	回答	数	割合
①	太陽光発電システムと組み合わせて使用するため	66	88.0%
②	災害時や停電時に電気を利用できるようにするため	65	86.7%
③	深夜電力により充電し、電力コストを削減するため	38	50.7%
④	太陽光発電システムのパワーコンディショナの買い替え時期だったため	3	4.0%
⑤	その他	2	2.7%

その他：固定価格買取が終了するため

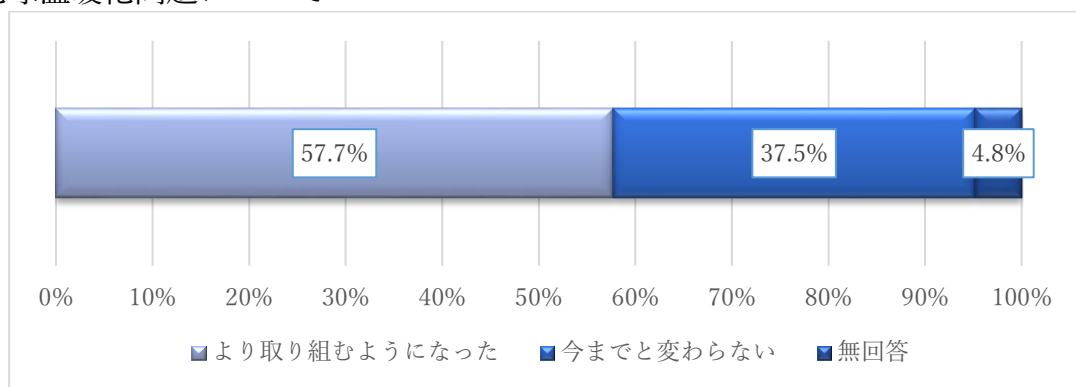
(9) 設備導入による意識変化について 【n=104】

《省エネ活動について》



回答	数	割合
より取り組むようになった	61	58.7%
今まで変わらない	39	37.5%
無回答	4	3.8%

《地球温暖化問題について》



回答	数	割合
より取り組むようになった	60	57.7%
今まで変わらない	39	37.5%
無回答	5	4.8%

(10) 自由記載（一部抜粋：原文のまま掲載）

① 省エネや節電等についての行動

昭和の戦後育ちの親に育てられたので、元々質素な暮らしで、省エネ、節約家です。
今回の導入で意識が変わったというよりも、世の中の意識が高まる中での行動。
地球温暖化の対策で個人が出来る対策を少しずつ実現していますが、個人のできる範囲は限られています。
もっと国と自治体の温暖化政策に力を入れていただきたいと思います。企業でも力を入れている企業とまったく考えていない企業があります。国と自治体と企業が相互に協力して進めるべきと考えます。

② 省エネ設備についての感想や意見

天気のよい日は車の充電をするなど、太陽光発電と蓄電池の組み合わせでなるべく外から買う電力を減らすように心がけています。
価格的に安いものではなかったが、この時代いつ災害がおきるか不安なので少しでも安心できて毎日の生活が送れたらと思い導入しました。そして光熱費も下がりました。ガスで電力をということで電気代はかなり少なくなりましたが、ガス代が夏は少ないのにガスで電力を作っているの今後どうなるか心配です。
市の補助をいただいて設置できたシステムのおかげで先日の地震による停電時も不安なく過ごすことができました。
2011年の震災をきっかけに太陽光発電システムを導入した。その後10年が経過し極端に売電価格が下がることから蓄電を考え始めたが、蓄電池の導入費用が高く二の足を踏んでいた。市で補助が出るということが大きなきっかけとなり蓄電池の導入に踏み切ることができ、補助金にはとても感謝している。原発をフル稼働できない状況が続いているので代替エネルギーとして太陽光と蓄電は非常に有効と思うが、10年経過後の電力会社の待遇があまりにも悪いので普及が進んでいないという面もあると思う。
光熱水費の負担を軽くするため電気の供給先を変更したり、エネファームを設置し光熱水費の負担の軽減に効果がありましたが、家族ひとりひとりの意識を高めないと使用量の低減は難しいと思います。今後はエネルギーの低減に関心を強くし生活していきたいと思えます。
各設備は”省エネ・地球温暖化問題”を意識していたので導入した。
太陽光発電導入により、得する、損するという意識よりは、環境保護や災害対策という意識が高まった。
ただし、導入コストが高いため、導入には躊躇してしまう。
太陽光設備も蓄電設備も、維持費や処分費用などか心配。☒れるだけ補助金を出して、処分は利用者任せなのは、問題がある。

③ 市への要望や意見

ゴミ 0 で市の負担を少なく。市内に多くゴミが捨てられている。
今回のように行政である程度補助をしてもらうことでより多くの家で発電システムを導入できるのではないかと思う。CO2 排出量を減らし温暖化対策する有効な手段と思うのでより積極的に宣伝し導入を促してもらいたい。
補助制度を利用させていただきましてありがとうございます。
補助金の見直しをお願いします。政府が推し進めている太陽光発電システムと蓄電システムの補助金が少なすぎる。新築に取り付けたが蓄電システムしか補助金が出ない。なぜ太陽光システムの補助金が出ないのか。太陽光発電設備の耐用年数が 17 年となっているが短すぎるのではないか。地球温暖化が問題になっている耐用年数の見直しも必要ではないか。
現在 FIT は 10 年だが、カーボンニュートラルを目指す為には延長をして欲しい。殆どの太陽光設備は FIT 期間が終了すると維持費の方が高くなるため廃棄してしまい、結果的にゴミが増える結果につながる。 また、導入コストも抑えて多くの家庭が取り組めるよう、補助金も増やすべきだと考える。
蓄電池を考えているとき安いものではないので考えてしまいましたが、“補助金がある”のを知り決めました。助かりました。ありがとうございました。
次は蓄電池による災害対策を行うか検討しているが、市によるバックアップを期待している。